

# 文明開化の音がする

## 出演者プロフィール

### 鈴木 創 (すずき はじめ) 箏

生田流箏曲宮城社師範。

群馬県前橋市生まれ。十歳で川端光永師に入門し、十五歳で職格を得る。群馬県を中心に各地で演奏活動を行う他、後進の育成にも努める。地歌古典曲や宮城道雄作品を中心に、多くの方に気軽に邦楽に触れていただきたく、身近な会場を使っての演奏や邦楽以外の楽器との共演も行っている。箏曲宮城会、日本三曲協会、桐の音会、温故和楽会、伝統邦楽振興会、群馬音楽家集団 会員。http://www.hajime-koto.jp

### 相田 南穂子 (あいだ なおこ) リードオルガン

東京音楽大学音楽学科ピアノ専攻卒業、同研究科オルガン専攻修了。

聖グレゴリオの家宗教音楽研究所教会音楽科修了、同専攻科修了。

教会奏楽奉仕の傍ら、立教女学院短期大学名誉教授佐藤泰平氏に影響を受けリードオルガンの演奏に興味を持ち始める。現在は演奏活動の他に、失われつつある楽器の修復を目指してリードオルガンの構造と修理法を学んでいる。日本オルガニスト協会会員、日本リードオルガン協会会員。



使用オルガン  
明治 38 年製山葉

### 永田 斉子 (ながた せいこ) 月琴

国際基督教大学の卒論として長崎でのみ口伝伝承されていた月琴音楽をまとめた。リュート奏者として活動するうち高知県立坂本龍馬記念館所有の月琴を演奏する機会に恵まれ、月琴の演奏を始める。長崎県主催イベント「龍馬が生きた時代」、高知県立坂本龍馬記念館主催「女性が紡ぐ龍馬さん」などに出演。CD「月琴 MOON LUTE」をリリース。朗読音楽会「月琴で綴る龍馬の手紙」を企画・連続公演中。公式サイト seikonagata.com



### 月琴 (げっきん)

満月のような胴と琴に似た音色を持つことから月琴と名付けられた。

4本の絹糸の弦を小さなべっ甲の撥で弾く。19世紀初めに中国から長崎に伝来、幕末から明治にかけて全国的に普及したが、日清戦争を機に衰退していく。明治初期には多数の楽譜が出版されたがリズムの復元が難しく、現在まで継続的に伝承されているのは、長崎においてのみわずかな数曲であり、伝来以来およそ100年にわたって日本人が夢中になった月琴は、日本音楽史から顧みられることなく現在に至っている。

### 演奏予定曲 <第一部> 箏

六段の調  
秋風の曲

### <第二部> リードオルガン

美しき天然  
旅愁  
ローレライ  
紅葉

### <第三部> 月琴

九連環 (キウレンクワン)  
茉莉花 (メリイフハア)  
算命曲 (サンミンキヨ)  
四季 (スウキイ)  
漫板流水 (マンパンリウスイ)

## 企画・主催・会場

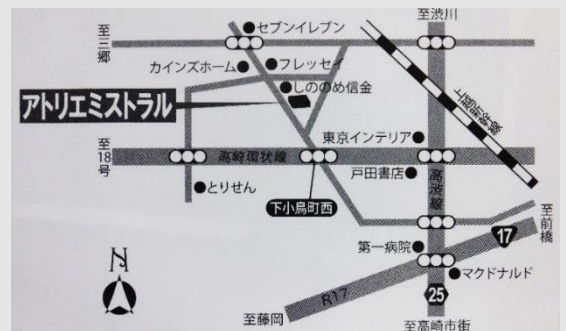
**アトリエミストラル** 群馬県高崎市下小鳥町 312-4 (駐車場有)  
旧信用金庫を改装したコンサートサロン。1905年製プレイエル 3bis および 1930年製西川オルガンを常設し、さまざまなコンサートを企画・実施。堅牢な造りから来る響きの良さに加え、個性的なプログラムと質の高い演奏内容で大変好評を博している。演奏家との距離が近く、音楽を身近に楽しめるサロンの役割を担う存在として、演奏家・聴衆及び地域に貢献している。レンタルスペースとしての利用も可。

https://atelier-mistral.jimdo.com/

### 【交通のご案内】

群馬バス: JR 高崎駅西口バスステーション②番乗り場から「浜川経由箕郷行き」または「伊香保温泉行き」に乗車、「上郊口 (かみさとぐち)」下車。バスの進行方向に向かって徒歩約1分の右側。

タクシー: JR 高崎駅から約20分、JR 高崎問屋町駅から約5分



LINE でコンサート情報を GET!

